

1 基本項目	事務事業名	水族館施設整備事業			担当 部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	施設整備事業				係名	管理係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成20年	終了年度		当面継続	會計	水族館事業特別会計
	総合目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				科目	款	1. 水族館費
	政策名	10 明日を担う人づくり				項目	項	1. 水族館費
	施策名	31 生涯学習の推進				目	目	1. 水族館管理費
	基本事業名	31-3 博物館の充実				アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載			

2 事業概要	事業概要	水族館施設の大規模な新規及び改修整備に関する施設改修事業
	対象	①入館者②魚津水族館館内設備
	手段 (活動指標)	大規模な整備に関する施設改修工事
	意図 (成果指標)	効果的な改修を行い、今後10年にわたっての安定運営を図る。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 年間入館者数	人	150,000	144,991	150,000	152,152	101.4%	150,000
	②							
	③							
	① 入館者の前年対比	%	100	77	100	105	105.0%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円						
	②委託料	円	475,000	253,800				
	③工事請負費	円	10,800,000	10,797,376	17,000,000	16,706,088	54.7%	9,000,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計 (A)	円	11,275,000	11,051,176	17,000,000	16,706,088	51.2%	9,000,000
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他 (使用料、雑入等)	円	11,275,000	11,051,176	17,000,000	16,706,088	51.2%	9,000,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	11,275,000	11,051,176	17,000,000	16,706,088	51.2%	9,000,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	800	700	700	700	0.0%	700
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3,360,000	2,940,000	2,940,000	2,940,000	0.0%	2,940,000
総費用 (A+B)	円	14,635,000	13,991,176	19,940,000	19,646,088	40.4%	11,940,000	

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海水取水ポンプNo. 1、No. 2分解整備工事</li> <li>○海水取水真空ポンプ交換工事</li> <li>○魚津水族館海水送水ポンプ外更新工事</li> <li>○魚津水族館外気処理用空調機更新工事</li> <li>○海水取水ポンプ無線化装置工事</li> <li>○淡水揚水ポンプNo. 1更新工事</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	入館者の要望や劣化による緊急性
対象の妥当性					1 妥当である	入館者の安全性、展示を考えると妥当である
有効性	有効性	A	A	目標達成度	1 高い	入館者の要望と安全、またポンプを交換することにより飼育生物の安全を確保できた
				類似事業の有無	1 なし	対象となる施設がない
				上位施策への貢献度	1 高い	生物展示が安全にできる。また入館者の安全性が高くなる
効率性	効率性	A	B	コスト効率	2 普通	適正に入札を行っている。
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	事業が増大している。大型施設設備のための設計ができる技師が不在である。
				負担割合の適正化	1 適正である	市所有施設による市単独事業のため
1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	要	
後(課題及び今)	評価結果	27年度において、「魚津水族博物館あり万庁検討会」を設置した。公共施設再編計画では、平成47年度を目標年度として改修・改築、新築移転をすることになっている。今までは、少額な修繕だけを行ってきたが、これからは電気配線や外壁等の大型修繕が必要となる。今後は、長寿命化計画を策定し、計画的に修繕を実施していく。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	観光資源強化事業			担当部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	観光資源強化事業				係名	管理係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成26年度	終了年度		平成27年度	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち			款	1. 水族館費	
	画	政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出			項	1. 水族館費	
	根拠法令	施策名	9 観光の振興			目	1. 水族館管理費	
	基本事業名	9-1 観光資源のブランド力向上と整備			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	北陸新幹線開業に合わせて、魚津水族館の魅力向上を図るとともに、首都圏からの来訪者に魅力をアピールし、魚津市への観光客誘致につなげる。
	対象	①入館者
	手段(活動指標)	テレビ、新聞、雑誌等への広告掲載 新コーナー設置
	意図(成果指標)	入館者数の増

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 年間入館者数	人	150,000	144,991	150,000	152,152	101.4%	150,000
	②							
	③							
成果指標	① 入館者の前年対比	%	100	77	100	105	105.0%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	600,000	168,912				
	②委託料	円	3,000,000	2,359,152	903,161	903,161	-61.7%	
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	5,013,000	4,222,644	1,200,000	618,300	-85.4%	
	支出合計(A)	円	8,613,000	6,750,708	2,103,161	1,521,461	-77.5%	0
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	8,613,000	7,050,708	2,103,161	1,521,461	-78.4%	
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	8,613,000	7,050,708	2,103,161	1,521,461	-78.4%	0
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	4	4	4	0.0%	
	②年間所要時間	時間	1,500	1,860	1,860	1,860	0.0%	
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	6,300,000	7,812,000	7,812,000	7,812,000	0.0%	0
	総費用(A+B)	円	14,913,000	14,562,708	9,915,161	9,333,461	-35.9%	0

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○魚津水族館CM製作・放送(旅チャンネル)</li> <li>○北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅タッチパネル式広告</li> <li>○北陸三水族館館合同キャンペーン</li> <li>○テングノタチ、ユキフリソデウオ、ダイオウイカレリーフ制作</li> <li>○スマホARアプリ ココアルツ導入</li> <li>○のぼり旗制作</li> <li>○入口看板設置</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	ニーズを踏まえて行っている
対象の妥当性					1 妥当である	魚津市の観光客誘致につながっている
有効性	有効性	A	A	目標達成度	1 高い	入館者数に反映している
				類似事業の有無	1 なし	水族館から情報発信し観光客の誘致に努めている
				上位施策への貢献度	1 高い	魚津市への観光客誘致につながっている
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	コスト効率が低い事業を行っている
				実施主体の適正化	1 適正である	水族館から情報発信し、魚津市全体の観光客の増加を図っている
				負担割合の適正化	1 適正である	北陸新幹線開業に合わせた期間限定事業のため
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	0
	後(課題)評価結果(及び今)	入館者数は対前年比105%であった。アサランの子供の誕生や、暖冬によって後期に入館者が増えたが、通年では、北陸新幹線開業は負の効果となった。しかし、物品販売を兼ねたPR戦略により、販売品額は大きく伸びている。これからもニーズをとらえた販売品を展開し、宣伝でも、来館者の増加を図れるようタイミングをみて宣伝していく。				評価結果

1 基本項目	事務事業名	水族館企画展事業			担当部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	企画展事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度		当面継続	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			款	1. 水族館費	
	画	政策名	10 明日を担う人づくり			項	2. 水族館費	
	画	施策名	31 生涯学習の推進			目	1. 水族館管理費	
	画	基本事業名	31-3 博物館の充実			アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
画	根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	担当者が世間情勢を考慮しながらテーマを選び、特別展会場を中心に年に数回開催する。
	対象	来館者
	手段(活動指標)	夏の特別展、ホタルイカ展示、クリスマス特別展示、ハロウィーン特別展示、春の特別展
	意(成果指標)	企画展を通して、入館者は生物に対して興味がわき、知識が増える。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 企画展の実施回数	回	6	6	6	6	100.0%	6	
	②								
	③								
	成果指標	① 特別展開催期間中入場者数/年間入場者数	%	100	100	100	100	100.0%	100
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	1,106,000	771,664	512,000	460,939	-40.3%	512,000
	② 委託料	円	944,000	513,810	838,839	823,500	60.3%	1,100,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	146,000	46,358	285,199	60,480	30.5%	263,000
	支出合計(A)	円	2,196,000	1,331,832	1,636,038	1,344,919	1.0%	1,875,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	2,196,000	1,331,832	1,636,038	1,344,919	1.0%	1,875,000
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	2,196,000	1,331,832	1,636,038	1,344,919	1.0%	1,875,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,800	1,560	1,560	1,560	0.0%	1,560
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	7,560,000	6,552,000	6,552,000	6,552,000	0.0%	6,552,000
	総費用(A+B)	円	9,756,000	7,883,832	8,188,038	7,896,919	0.2%	8,427,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホタルイカ展示</li> <li>○夏の特別展 トリック展</li> <li>○ハロウィーン特別展示：富山湾大水槽をサポートによる飾りつけを行った</li> <li>○クリスマス特別展示：富山湾大水槽をサポートによる飾りつけを行った</li> <li>○コイ展</li> <li>○魚津水族館裏方探検&amp;餌やり体験ツアー実施</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	話題性、集客につながりそうなテーマで行っている
対象の妥当性					1 妥当である	水族館への集客につながっている
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	多くの入館者が企画展を見ている
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない
				上位施策への貢献度	1 高い	特別展を通じて、入館者が生物を楽しく学べ、知識に繋がっている
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	コスト効率が高い事業を行っている
				実施主体の適正化	1 適正である	多くの入館者に情報を提供している
				負担割合の適正化	1 適正である	企画展を通じて多くの入館者に生物の情報を提供しているため
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)	今年度は試行で、リニューアル時に整備した裏方もイベントとして開放した。このようなイベントを実施することにより、スタッフが入館者との距離が縮まり、解説板にはない情報が伝わることで、リピーターとなり入館者増にも繋がる。また、展示会場の有効利用を検討する必要がある。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	水族館博物館事業			担当部署	課名	水族博物館		
	予算事業名	博物館事業				係名	飼育研究係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100		
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度		当面継続	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			予算科目	款	1. 水族館費	
		政策名	10 明日を担う人づくり				項	2. 水族館費	
		施策名	31 生涯学習の推進				目	1. 水族館管理費	
		基本事業名	31-3 博物館の充実				アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載				

2 事業概要	事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③普及活動に関わること	
	対象	①常設展示生物 ②入館者 ③普及活動	
	手段(活動指標)	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③うおづ水辺の調査隊活動等	
	意図(成果指標)	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる ②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 展示生物	点	11,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
	② 調査研究数	件	3	3	3	3	100.0%	3
	③ 普及活動参加人数	人	8,000	8,137	8,000	7,604	95.1%	8,000
	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	100	100	100	100	100.0%	100
	② 論文・報告発表数	数	8	5	5	2	40.0%	5
	③ 普及活動の満足度	%	100	100	100	100	100.0%	100

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	7,965,547	6,411,893	7,575,500	6,997,860	9.1%	7,875,000
	②委託料	円	500,000	340,200				800,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	330,000	330,000	326,000	326,000	-1.2%	
	⑤その他	円	719,000	493,543	1,529,801	1,392,902	182.2%	1,803,000
	支出合計(A)	円	9,514,547	7,575,636	9,431,301	8,716,762	15.1%	10,478,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	9,514,547	7,575,636	9,431,301	8,716,762	15.1%	10,478,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	9,514,547	7,575,636	9,431,301	8,716,762	15.1%	10,478,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,800	1,700	1,700	1,700	0.0%	1,700
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	7,560,000	7,140,000	7,140,000	7,140,000	0.0%	7,140,000
	総費用(A+B)	円	17,074,547	14,715,636	16,571,301	15,856,762	7.8%	17,618,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○ホタルイカ発光実験開催	
	○うおづ水辺の調査隊活動の実施：今回の活動は、自分で疑問を持ち、自分で解決し発表を行った。	
	○アウチリーチ活動の実施 2015水みらいプロジェクト	
	石田小学校、舟橋小学校、福野小学校、鶴坂小学校	
	○発光実験サマーバージョン2015を開催	
	○水槽クリニック：市内小学校に配布したメダカの確認と調整	
	○魚津市内の淡水魚、両生爬虫類および野鳥の調査を行った。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	話題性
対象の妥当性					1 妥当である	水族館への集客に繋がる
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	多くの入館者が企画展を見ている
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない
				上位施策への貢献度	1 高い	特別展を通じて、入館者が生物を楽しく学べ、知識に繋がっている
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	コスト効率が高い事業を行っている
				実施主体の適正化	1 適正である	多くの入館者に情報を提供している
				負担割合の適正化	1 適正である	水族館から多くの入館者に生物の情報を提供しているため
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	博物館事業は水族館の命であり、この部分の充実に力を入れるのは欠かすことができない。恒常的な展示更新や話題性のある生物展示、普及活動などを行って、情報を発信することで、魚津水族館の魅力アピールしたい。またサポーター活動の試行の実施年度だったため、来年度以降は、本格的な実施を行いたい。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市史編纂動物調査事業			担当部署	課名	水族博物館	
	予算事業名	市史編纂動物調査事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度		平成28年度	会計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			款	1. 水族館費	
	画	政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興			項	2. 水族館費	
	根	施策名	33 文化の振興			目	1. 水族館管理費	
拠	基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
法	法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	魚津市史自然編編集の基礎データを蓄積するため、市内の生物に関する調査を行う。
	対象	魚津市内の生物全般
	手段(活動指標)	野外調査、資料(文献・書籍等)の情報収集
	意(成果指標)	魚津市史自然編の発刊に必要な情報や資料を、野外調査や情報収集によって集積する。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 野外調査日数	日	50	30	30	30	100.0%	30	
	②								
	③								
	成果指標	① 調査による情報収集率	%	53	50	100	100	100.0%	100
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	150,000	99,036	193,000	72,485	-26.8%	181,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円			100,000	45,144		
	支出合計(A)	円	150,000	99,036	293,000	117,629	18.8%	181,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	150,000	99,036	293,000	117,629	18.8%	181,000
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	150,000	99,036	293,000	117,629	18.8%	181,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	300	900	900	900	0.0%	900
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,260,000	3,780,000	3,780,000	3,780,000	0.0%	3,780,000
	総費用(A+B)	円	1,410,000	3,879,036	4,073,000	3,897,629	0.5%	3,961,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○魚津市内の生物調査	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	市史編纂のための市内生物調査であるため
対象の妥当性					1 妥当である	生物データの蓄積につながっている
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	屋外調査を行うことで、データの蓄積と展示にも反映される
				類似事業の有無	1 なし	県内唯一の施設のため、類似施設はない
				上位施策への貢献度	1 高い	屋外調査を行うことで、データの蓄積と展示にも反映される
効率性	効率性	A	B	コスト効率	2 普通	効率は普通である
				実施主体の適正化	1 適正である	調査を行うことでデータの蓄積につながっている
				負担割合の適正化	1 適正である	屋外調査を行うことで、データの蓄積と展示にも反映される
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後(課題及び今後の評価結果)	市史自然誌編は、魚津市の水循環が育む自然のバイブルとなるもので、その作成とともに、活用を考えていく必要がある。市史の作成に伴い集めたデータを基に、展示にも生かしていきたい。平成28年度からは執筆が始まるが、27年度の事業停滞により、平成29年度での完成が危惧される。			評価結果	